

大気化学・雷観測のための静止衛星 (GOAL) 構想の検討状況について

Updates on feasibility study on Geostationary Observation of Atmospheric Chemistry and Lightning (GOAL) satellite proposal

鈴木 睦 [1]; 塩見 慶 [1]; 北 和之 [2]; 今村 剛 [3]; 中村 正人 [4]; 奥村 真一郎 [5]; 高橋 幸弘 [6]; 牛尾 知雄 [7]; 仲田 季寧 [8]
Makoto Suzuki[1]; Kei Shiomi[1]; Kazuyuki Kita[2]; Takeshi Imamura[3]; Masato Nakamura[4]; Shin-ichiro Okumura[5]; Yukihiro Takahashi[6]; Tomoo Ushio[7]; Toshimi Nakata[8]

[1] JAXA/EORC; [2] 茨城大・理; [3] JAXA 宇宙科学本部; [4] 宇宙航空機構宇宙研本部; [5] JSGA; [6] 東北大・理・地球物理; [7] 大阪大・工・情報通信; [8] 茨城大・理

[1] EORC/JAXA; [2] Ibaraki Univ.; [3] ISAS/JAXA; [4] ISAS/JAXA; [5] JSGA; [6] Dept. of Geophysics, Tohoku Univ.; [7] Osaka Univ.; [8] college of science, Ibaraki Univ

著者らはこれまで、静止衛星からの広域大気汚染などの大気化学現象と雷の気象学・大気化学などの観測を目指す、Geostationary Observation of Atmospheric Chemistry and Lightning (GOAL) 衛星構想の提案活動を行ってきた。FY16 から JAXA/EORC において、GOAL 衛星構想のための衛星システムおよびセンサーの概念検討作業が行われている。その結果、1年寿命の試験衛星・科学衛星によるデモンストレーション観測を前提にすると、これまで提案してきた、小型センサーによる観測が実現可能であることが明らかになってきた。ここでは、センサー概念検討、センサー実現性検討、アルゴリズム検討、衛星システム検討などの、最近の進捗状況について報告する。